

# 対話を重視した授業改革と

# ICTの有効活用についてvol.3 ～教室の隅々まで授業改革を～



「対話を重視した授業改革とICTの有効活用について」vol.3の事例のポイントは、子どもが他者に分かりやすく表現できるよう、自分の考えをまとめている場面や、自らの考えと他者の考えの価値交換を行い、自分の考えを広げたり深めたりする場面において、ICTを有効活用している点です。

## 石狩管内における対話を重視した授業改革とICTの有効活用の実践事例

### 千歳市立向陽台小学校 第2学年 国語



読み取ったことから想像して表現を工夫しながら音読し、ICTで録画した様子をグループで振り返り、改善点について話し合いました。また、共有した仲間の音読のよい点を参考にすることで、音読のスキルを向上させる手がかりを得ていました。

### 江別市立いずみ野小学校 第3学年 算数



具体物の重さを比べ、重い順に結果を端末に入力することにより、「どのくらい重いのか、長さを比べたときのように、数で表せないだろうか」という考えをもつことができました。

### 千歳市立日の出小学校 第6学年 算数



児童が日常生活の事象について、「問題-計画-データ-分析-結論」という五つの段階を経て、問題を解決することができるよう、集めたデータから自分の考えと相手の考えの関連性を見だし、ICTを活用して交流していました。

### 北広島市立緑陽中学校 第3学年 国語



「昔の人にとって「和歌」とはどのようなものだったのか」という学習課題に対し、ICTを活用しながら、生徒が対話を重ね、グループで立てた学習計画に基づき、主体的に課題解決に取り組みました。

### 【担当から】

今回紹介した4校は、本時で育成する資質・能力の育成に向け、授業の様々な場面において、ICTを有効活用しながら、子どもが対話によって自分の考えを広げたり深めたりした好事例です。

次年度の管内教育推進の重点推進の取組においても、ICTを有効に活用した授業改革を位置付けています。管内全ての子どもたちのため、全ての学校で教室の隅々まで授業改革を行き届かせましょう！  
(義務教育指導班 指導主事 熊崎 高士)